



東南アジアでの展開を加速

シンガポールに販売会社を新設します

2020年10月1日から事業開始

キューピー株式会社

キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員：長南 収、以下キューピー）は、株式会社中島董商店^{※1}の子会社、MINATO SINGAPORE PTE. LTD.（以下ミナトシンガポール）^{※2}の株式を取得し、2020年10月1日からキューピーの子会社として事業を開始します。東南アジアにおける現地法人としては6社目となります。

※1 中島董一郎が1918年に設立し、各種瓶缶詰食料品の販売、酒類の輸入販売を行う会社。中島董一郎は、翌年1919年に創業したキューピーの創始者でもある。

※2 シンガポールでの輸入酒類・食料品の販売を目的に中島董商店が2011年に設立。

キューピーは、ミナトシンガポールの株式の80%を第三者割当増資の引き受けにより取得し、連結子会社とするとともに、会社名をKEWPIE SINGAPORE PTE. LTD.（以下キューピーシンガポール）に変更します。2020年10月1日から、シンガポールにおけるキューピーグループの商品（マヨネーズ、ドレッシングなど）の輸入販売拠点として、新体制で事業を開始します。輸入先は、主に日本と東南アジア（マレーシアやタイなど）のグループ各社です。東南アジアの中心国であるシンガポールでキューピーブランドを育成し、さらに販売強化を図ります。

キューピーの東南アジア展開は、1987年のタイ進出から始まりました。現在ではタイ・マレーシア・ベトナム・インドネシア・フィリピンに現地法人を設立し、マヨネーズ・ドレッシング・スプレッドなどの製造・販売を行っています。シンガポールは、東南アジアにおける6カ国目、6社目の現地法人となります。

キューピーは今後も、製造・輸入販売拠点を効率的に配置することにより、東南アジアでの展開を加速していきます。

<会社の概要>

社 名：KEWPIE SINGAPORE PTE. LTD.

代 表 者：CEO（非常勤）杉森俊彦

COO（常勤）高田悠平

事業内容：マヨネーズ、ドレッシング等の輸入販売

会社設立日：2011年7月8日

事業開始日：2020年10月1日（新体制での事業開始）

本社所在地：シンガポール共和国

資 本 金：100万シンガポールドル

（日本円で約8,000万円、1シンガポールドル=80円で計算）

決 算 期：9月30日

出 資 比 率：キューピー株式会社 80%、株式会社中島董商店 20%

【参考:キューピーの東南アジアでの展開】

キューピーは、タイ、マレーシア、ベトナム、インドネシア、フィリピンに現地法人を設立し、マヨネーズをはじめとした商品の製造・販売を行っています。(2019年度東南アジアの販売実績は111億円)

タイ

1987年に現地企業との合弁企業を設立し、マヨネーズ等の製造・販売を開始。マヨネーズの他、ドレッシング、ソース、ビネガー、カット野菜など、幅広い商品を主にフードサービス市場に提供している。2009年度から現地法人「キューピータイランド」を連結対象とし、グループの製造・販売などのノウハウを活用、タイ国内での展開とオーストラリアなど周辺諸国への輸出の拡大を進めている。

マレーシア

2009年に「キューピーマレーシア」を設立、2010年からマヨネーズなどの製造・販売を開始。マヨネーズ、ドレッシングなどを一般家庭向けとフードサービス市場に提供。製造・販売する商品はすべて「ハラル食品」としてマレーシア政府機関から認証を取得。マレーシア国内での展開の他、シンガポールへも輸出している。

ベトナム

2010年に「キューピーベトナム」を設立。2012年からマヨネーズ、ドレッシングなどの製造・販売を開始。ベトナム国内での展開の他、フィリピンへも輸出している。

インドネシア

2013年に「キューピーインドネシア」を設立。2014年からインドネシア国内でのマヨネーズやドレッシングなどの製造・販売を開始。製造・販売する商品はすべて「ハラル食品」として認証を取得している。

フィリピン

2018年に販売会社「キューピーフィリピン」を設立。2020年5月からフィリピン国内でのマヨネーズやドレッシングなどの輸入販売を開始。